

高知医療再生機構 | メディカルインタビュー



# おかえりなさい!

医療の現場で、患者の皆さんやスタッフがあなたの復職を待っています。そして、医療従事者と医療現場の明日を考える。高知医療再生機構は、あなたの「ただいま!」を応援します。

高知厚生病院 医師  
計田 香子

- 1979年 3月 土佐高等学校 卒業
  - 1985年 3月 高知医科大学(現・高知大学医学部)医学部医学科 卒業  
4月 高知医科大学医学部第二内科学教室研修医
  - 1986年 4月 国立循環器病センター研修生
  - 1987年 3月 高知医科大学医学部第二内科学医員
  - 1988年 10月 高知赤十字病院内科医員
  - 1990年 3月 高知厚生病院内科
  - 1993年 3月 医学博士 取得
  - 2009年 10月 高知県医師会常任理事
  - 2010年 4月 高知県医師会男女共同参画委員会委員長
- 日本内科学会認定総合内科専門医

## 支え合う気持ちを大切に、女性が働き続けられる医師社会に!



### 女性医師が増えています!

ひと昔前までは、女性医師が出産・子育てをしながらキャリア形成をすることは難しいことでした。封建的な医師社会の中で、妊娠すること自体が歓迎されず、産休をとることもままならない、当直ができない身では勤務先もないという環境でした。

しかし、今は医学生生の3割超が女性であり、これからの医療は女性も大きな役割を担っていく時代。働き続けられる環境と、女性医師およびまわりの人々の意識の改革が必要となっています。

現在、医師のキャリア形成プランでは、女性が妊娠・出産をするために現場を離れることが想定されていません。医学部を最短期卒業したとしても24歳、2年間の初期研修を終えると26歳、専門医資格取得を目指す頃には出産適齢期となります。出産に年齢的なリミットがあることがわかってきた今、この間に出産・

子育てに臨むことができるようになる必要があります。医師会では、そのような配慮を求める働きかけを行っています。

### お互いに支え合う気持ちを胸に

高知県医師会男女共同参画委員会では、これから医師になる人たちに「女性医師が働き続けられること」について考えてほしいと、3年前から高知大学医学部で講義を行っています。まず、医師を育てるために多額の税金が投入されていることへの理解を深め、「知識や技術をもつて恩返しをする」という気持ちを育てます。そして、医師同士が支え合い、働き続けられる環境を共につくっていかなくてはならないことを伝えています。

女性医師の妊娠に、まずは「おめでとう!」と言える仲間、出産をしても安心して戻れる職場、意欲的にチャレンジできるキャリアアップのしくみづくりを目指して取り組んでいます。

子育ての経験を生かせる医師に医師は、人の役に立つとやりがいのある仕事。出産して子どもを育てることは人間を豊かにし、患者さんの心に寄り添ううえでとてもよい経験となります。辞めるという選択をすることなく、ぜひとも続けてほしいと思います。そのためには、早いうちから結婚・出産・キャリアアップを考えて人生設計をすることが大切です。

### 子育ての経験を生かせる医師に

しかし、医療の現場を離れると、医師としての自信をなくしてしまうことは誰しもあること。高知県医師会は、高知医療再生機構と連携し、短時間勤務など条件に合った職場のマッチングや、病児保育の推進などさまざまな支援を行っています。現在、復職や休職についてお考えの方は、ぜひ高知県医師会や高知医療再生機構のホームページを参考にしてください。「働き続けたい気持ち」を応援します!

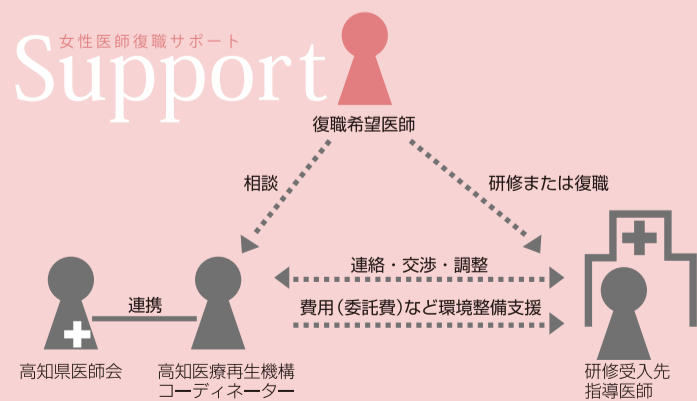
## 女性医師復職を応援しています。

# ただいま!

高知医療再生機構は、休職中の女性医師の「ただいま!」を支援しています。サポートの中心は復職のための研修環境整備ですが、復帰のためのあらゆる相談に可能な限り対応したいと考えています。また、制度に不備があれば、新しい支援システム、復職プログラムの構築にも取り組みます。もちろん、復職には、家族の声援、支援がいちばんですが、高知医療再生機構のコーディネーターのサポートも、きっとあなたの力になれるはずですので、お気軽にご相談ください。



復職サポートについて、詳しくは女性医師復職応援サイト「JOYサポネット」をご覧ください。



一般社団法人 高知医療再生機構

<http://www.kochi-mrr.or.jp/>

〒780-8570 高知県高知市丸の内 1-2-20 高知県庁本庁舎内 TEL 088-822-9910